

月刊 發行兼編輯人 川崎文治 本社下町番地（電話六三〇番）印刷所 常盤毎日印刷所

常盤新報

刊夕日九十二月九

定部金貳錢 廣五錢十二 休日曜大祭 福島縣石城郡平町長橋町三五
一ヶ月五錢 告字一十一行 刊日曜大祭 發行所 常盤毎日新聞社
料（五）十錢 日 日 電話六〇番三

可認物便郵種三第 (號一十二百四千一第) 聞新日每警常 (日曜日) 日十三月九年三和昭 (四)

お子様方 秋の御用意

幸福印 提供の特價

極上小倉製半ズボン上下
一二年用.....一圓九十錢
二三年用.....一圓十錢
三四年用.....一圓三十錢
四五年用.....一圓五十錢
五六年用.....一圓七十錢
高等科用.....三圓十錢
中學生用.....三圓五十錢
☑ネルワイシャツネクタイ
秋冬帽子各種取揃

平町五丁目(電話三五三番)
モリタヤ洋品店

小生儀先般病氣に罹り其の後静養の必要を認め一時歸郷罷在候處爾來幸に經過良好全く舊に復し候に付此度歸平の上左記事務所を定め從前の通り一般訴訟事務を取扱候間倍舊の御高顧を垂れられ度此段謹告仕候

昭和三年九月廿一日
福島縣石城郡平町字田町
十九番地(末廣向側)
辯護士 漆畑元吉
電話一〇八番

永久不變 平町三丁目
美術引伸 **齋藤寫真館**
寫真專門 (電話呼三五九番)
— 獨逸最新式高級機械設備 —

啼き残る蟬の聲に残暑きびしくとも朝夕の風つめたく肌に通ひ一葉二葉庭に落ちる病葉頰に秋の訪れを見る頃となりました、暑さにかけて忘れて居られたお肌の手入お髪の手入化粧等を充分おぼすにすよに季節となりました、又涼さを得ておのすからよくよかになり行く肌にお化粧の効果の一番目立つ時でございます

和洋結髪 **平四軒町**
電話五二五番
美容洗毛 相かわらす
美白 水野化粧院へ
御婚禮御仕度

家庭講座
兒童に及ぼす
童話の感銘 (一)
仙台放送局の講演速記
川崎小鳥

只今御紹介を戴きました私川崎で御座います。本日は放送局の御厚意に依り特に私の爲めに家庭講座の時間を御提供を戴きました。ラヂオを通じて皆様方にお話の出来事事は、私の非常な喜びとする處であります。

演題は「兒童に及ぼす童話の感銘」と掲げて置きました、何んとなく鹿爪らしく固苦しい演題であります

が、平たく申しますれば、「子供の喜ぶ童話に就いて」と云ふ様な譯でありまして甚だ難解な意見ではありませんが、何か御参考になりまします點があれば幸ひと存じます。御家庭の主としてお母様方の爲めに、私の考へます處を申上げて見度いと思ひます。

よく私共は世間の親さん方より「どうも家の子供はお話しが大好きで、毎日の様に、話してくれ、話してくれ、とせかまれました、殆んど閉口して居ります、困つて居ります」と云ふお言葉を聞くので御座います。而して考へて見ますと、是れは、話しかせがみます子供達の方よりも、せがまれて閉口する親御さん達の方が餘ッ程の困り者だと申さねばなりません。

即ち閉口する、困るといふ事は、子供の欲求に對して、何等の用意と準備を保持して居ない云ふ事を證據立て、居るので御座います。求め事事に對し用意と準備が充分で御座いますならば、困らすとも濟せ得ると思ひます。

(續)

初秋の御用意品案内

合着シャツとして確かに皆様より歓迎を受けるスムースな肌觸り滑かた且實用品であります

並時 壹圓五拾錢
大時 壹圓八拾錢
綿ネルと本ネルのワイシャツ

中折帽子
中山帽子
子供帽子
新柄種々陳列致しました

電話百四十番

最新型腕巻時計

優秀 最新型腕巻時計

側金代用側白側クロム

十型十石入上アングル	7.50
九型十石入上アングル	11.00
全十五石入上アングル	9.50
全十五石入上アングル	13.40
八型十五石入上アングル	12.00
全十五石入上アングル	15.00

側金保證側金十八

十型十石入上アングル	12.50
全十五石入上アングル	18.50
九型十五石入上アングル	15.00
八型十五石入上アングル	17.00

前店商屋釜目下五
用御省道鐵
店計時堂光金
(番六三七話電)

代理店 **西村屋藥舖**
平町二丁目(電三)

昭和三年九月中旬發行五百部限り出版に付き至急申込を乞ふ

磐城史料圖版集成

附・綱要 磐城史概論

附録は、圖版解説に關聯せる本郡の重要史論のものにして其の内、勿來關の研究には最も努力新述す!

今上陛下曠古の御即位式と本縣人松平節子姫が長く秩父宮殿下と御成婚を遊ばされたる御盛事等が孰れも今秋行はせ給へる對し奉り古來陸奥文化の源流地と爲す我が磐城即ち現代石城郡の所謂歴史寫眞なるものを此の獻上し齊光輝ある郷土の寶をこの國國民の光榮を賜ふべく冀ひ聊か本郡の國史的意義の一片を儀表し度き希ひより該の書を成譜成る

磐城郷土有史以來の歴史圖譜成る

前編 全一冊 特製クロス装幀普及表紙
金文字並金模機、押付天金、箱入、本郡歴史圖譜百九十六葉、全部アートパー印刷
附録共總頁二百六十餘頁
一部實費頒布價送共五圓

編輯 根野一平氏 編共 元三郎氏 裝幀 大森義生氏 伯裝幀

所布頒 郷土 磐城史概論

社 土 郷 磐城史概論

所行發 磐城史概論

部版出 舍學賢佑城磐

地番十二 町平 縣島 福
地番一〇 町平 縣島 福
地番一〇 町平 縣島 福

平町吉田眼科醫院

平町二丁目(電三)

最近の天候に恵れ 案外に良好な稲作

減収の大勢挽回し 僅か五分か一割減収想

石城郡地方の稲作は六月以降連続せる雨天に伴ふ低温に禍され成育頗る不良なりしに加へ郡内の各所に發生したるイモチ病は一時期殆んど燎原の火の勢ひで

萬頃の 美田を砥め

つくしその被害關係區域實に二百五十町歩と註せられ就中小名濱町の如きはその區域百五十町歩の廣汎に亘ると同時にこれ赤穂るべきゾイ虫の被害實に三百五十餘町歩を算せられ彼れこれ

本年の 米收は甚だ

しく悲觀されたが不斷の努力を拂つてこれが豫防奮勵に終始したその筋の施設經營宜しきに適したると二百十日以降における氣温の高騰は寧ろ例年以上に出た、

推移し つゝある稲

作掉尾の天候に、舞してあるが出穂以來の天候に崇られた草たけの發育不良にはついに根本よりその大勢を挽回する事が出来ず従つて粒つきの良好ならざるものも少くないのである

各方面の 減収は蓋し

免るべからざるものと豫想されてゐる、而して詳細なる收穫豫想は目下各町村に

基督教の講演 平町

南町裡日本基督教會にては來月一日午後七時半より基督教大講演會を開き東北學院教授マスタートオブアーツ矢野猪三郎氏及び本宮幸四郎氏の講演ある由

御婚儀祝賀の 會津芋煮會

昨日公園の盛況
既報在平會津人會の秩父宮勢津子姫御婚儀祝賀は昨日

現在從事中の 仕事にみな満足

平職業紹介所で 就職した兒童の模様調べ

平町職業紹介所では大正十五年以降小學校卒業兒童の職業紹介をなし昭和一年度までに六十一名、本年度に入つてから三十一名合計九十二名の兒童に對し職業の紹介をなしたが對し職業の紹介に満足し同所では此の紹介した兒童に對し本年八月下旬頃紹介されて下下從事してゐる職業に對して何んな考察をしてゐるか、そしてどんな感



家 庭 欄

茄子の胡麻煮

材料(五人前) 中位の茄子十個、黒胡麻五勺、味噌二杯、醤油二杯、砂糖二杯、胡麻油少々、黒胡椒を洗ひ、水

爭議に大敗以來 無産派影をひそむ

爭議誘發の行動を避け 漸次政治運動へ動く

常磐地方における労働運動は一昨年來急激な勢ひで當地方に兩翼を擴げ僅々五六ヶ月にして常磐炭界全部に亘つて組合支部の設置を見組合員數千人を算しその跋扈跳梁は目醒ましいものであつたが彼等

主腦部の 主義政策

が美名に藉口し甚だしく拙劣非道殆ど時代思潮に伴はぬ行動を執つたため地方民の反感を買ひ、又右傾思想

昨今に至つては社會主義黨と何等選ぶ處なきまで右傾化するに至つたから今後同黨の活動する方面は主として政治的活動を主としその他は爭議團を誘發するが如き行動は成る可く之を避ける事に大體に於て決定したらしいから今後の

常磐炭界 には再度

昨春のごとき全國的大爭議を醸す様な事は絶対にないものと観測されてゐる

平町の 陪審員候補

資格者抽籤
平町當局では陪審法が愈々來る十月一日から實施され

午後三時より松ヶ岡第三公園に於て開催、會場中央には御二方の御肖像を安置し先づ醫學士高久忠氏開會の辭を述べ古川四郎氏が勢津子姫の御經歷を謹述し小原喜八氏より祝電及び御返電の報告あり來賓代表伏見町長の祝辭に依り萬歳三唱後お國自慢の芋煮會に移り紅裙連酒間をいろどり午後六時散會したが出席會員七十餘名にて頗る盛況を呈した

宇都宮の 上竹氏來平

難病患者治療

廿五年間數萬人の神經痛やリウマチスの難病患者に専門治療を施した經驗を有する宇都宮濟生病院院長上竹善三郎氏(現市會議員)の來平を機とし來月一日午後二時より平陽女學校に於て同病に關する講演會を開き翌二日より五日間毎日午前八時より午後五時迄實際治療に當る由であるが東京出張所回診の都合上其他公私の用務多忙の爲め滞在延期を絶對に出来ないといふ

御座火の見 石城

郡内郷村御座消防組にては此程同村小學校前に鐵骨火の見櫓及び警鐘を新設し昨日午後一時より竣工式を舉行する

にゆるめてお鍋に入れ、茄子と一緒に煮ます、お砂糖は、少々甘い加減に入れた方がよろしく御座います、十分間も煮ますと黒ご麻とお砂糖のりが出て、茄子にまみれたところが面白う御座います、白っぽい小井に、三切れか五切れ、小高く盛ります。

募集

念出版にて古來陸奥文化の本源地たる磐城に於ける考古資料を集めて餘す處なく、掲げられた鮮明な圖版類は何れも珍品逸物のみ多く懐古の至念卒然として迫る殊に數葉の人物肖像は本郡文化に貢献せる人々を以つて満ち附録の磐城史論は石

新刊紹介

▲磐城史料圖版集成(草野順平、諸根樟一、諸橋元三郎三氏共著)今秋の聖上陛下に對し奉り之が御盛事に對し奉り之が献上を冀はんが爲めの記